

**副専攻名 経営・情報****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経営学・情報科学の基礎理論など、企業やビジネスに関する専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

**副専攻の学習成果**

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 企業、組織のしくみを学び、経営に必要な知識を得る。
5. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。
9. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
10. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
13025	経営学総論A	現代企業の仕組みと社会との関係を理解できるようになる。	2～4	2	
33303	経営学総論B	現代企業がどのように経営戦略を立て、それを実行しているのか、情報化やグローバル化の視点から理解できるようになる。	2～4		2
33305	経営管理論A	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようになる。	2～4	2	
33307	経営管理論B	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようになる。	2～4		2
33309	生産システム論A	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようになる。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる要件について議論できるようになる。	2～4	2	
33311	生産システム論B	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようになる。 2. 生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようになる。	2～4		2
33313	経営情報論A	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2～4※	2	
33315	経営情報論B	企業の戦略行動を情報に注目して理解する。	2～4※		2

**副専攻名 経営・情報**

**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経営学・情報科学の基礎理論など、企業やビジネスに関する専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

**副専攻の学習成果**

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 企業、組織のしくみを学び、経営に必要な知識を得る。
5. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。
9. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
10. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
33317	ビジネス・ファイナンスA	1. 設備投資に関する様々な評価手法を理解できるようになる。 2. MM理論に基づいて、資金調達・資本構成・配当政策の考え方を理解できるようになる。 3. ポートフォリオ理論に基づいて、リスク・リターン・分散投資の考え方を理解できるようになる。 4. 計算問題演習を通して、企業の財務行動の理論や企業価値の評価方法を理解できるようになる。 5. パソコンを使った実習を通して、企業の財務行動の理論や企業価値の評価方法を理解できるようになる。	2～4	2	
33319	ビジネス・ファイナンスB	1. デリバティブ(金融派生商品)の取引目的を、理解することができるようになる。 2. 先物理論価格に基づいて、先物取引の価値・損益を理解することができるようになる。 3. オプション価格理論に基づいて、オプション取引の価値・損益を理解することができるようになる。 4. 計算問題演習を通して、デリバティブの理論や具体的な取引内容を理解することができるようになる。 5. パソコンを使った実習を通して、デリバティブの理論や具体的な取引内容を理解することができるようになる。	2～4		2
33321	会計学原理A	伝統的会計実践の構造と機能を理解する。	2～4	2	
33323	会計学原理B	現行会計モデルの理論的枠組み、特徴、およびお問題点を理解する。	2～4		2
33329	財務会計論A	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようになる。	2～4	2	
33331	財務会計論B	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2～4		2

**副専攻名 経営・情報****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

経営学・情報科学の基礎理論など、企業やビジネスに関する専門科目群を幅広く配置する。この中から学生は、各自の興味に応じて自主的に履修計画を作成することが出来る。

**副専攻の学習成果**

1. 幅広い教養を身につけ、複眼的に現代社会を視る目を養う。
2. 経済学・経営学を学ぶに必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。
3. 市場経済のしくみと政府の役割を理解する。
4. 企業、組織のしくみを学び、経営に必要な知識を得る。
5. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。
6. さまざまな経済学説や理論を修得する。
7. 国際社会、日本社会、地域社会が抱える諸問題を理解し、解決の為の政策立案能力を養う。
8. 将来、社会の一員として働くことの意識を高めるとともに、キャリア形成のための基盤を形成する。
9. 課題を発見し、自ら調べ、解決策を導き出す能力を培う。
10. さまざまな情報源(日本語以外で発信されているものも含む)から適切な情報を取捨選択し、有益に活用する能力を養う。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
33333	情報科学A	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2～4	2	
33335	情報科学B	情報分析のための統計のデータ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2～4		2
33337	マーケティングA	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2～4	2	
33339	マーケティングB	研究開発から市場までの一連の企業活動を理解し分析できるようになる。	2～4		2
33341	経営戦略論	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2～4	2	

※隔年開講